

# グループワークで評論文読解 —表題づくりをきっかけに読みを深めよう—

- 1 科目名 国語総合
- 2 単元名 評論 I
- 3 教材名 山極寿一『「攻撃」と「共存」』  
ワークシート

## 4 単元の内容

単元の目標 と評価規準 ・評価方法	<p>①単元の目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ア 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしようとする。(関心・意欲・態度)</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりする。(読む能力)</p> <p>ウ 文や文章の組立て、語句の意味を理解する。(知識・理解)</p> </div> <p>②単元の目標設定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる生徒たちは、スマートフォンを使いこなし、物理的な距離に関係なく人とつながる一方で、自分と気の合う仲間とだけやりとりを行うこともできる環境にある。スマートフォンの中でのやりとりは、短い言葉、数少ない語彙で行われている。そのため、今回は個人での読解を行った上で、グループ交流を通して読解を深めていく授業を試みた。グループ内で必ず発言をすること、根拠を明確にして話すことを授業内で呼びかけ、他人に話すことで理解を深めることができたかと考えた。また、生徒たちが日頃読んでいる本を見ていると、大半の生徒がライトノベルを始めとした小説を手にはしている。新書を手にはしている生徒を見かけることはほとんどなく、さらに新聞を購読していない家庭もあるのが現状である。したがって、授業で扱う文章以外に筋道立てて書かれたものに触れる機会がほとんどない。本教材は、段落構成が明確な文章であるため、段落ごとの繋がりや論理展開に注目して読む力を育成するのに適当であるといえる。このような理由から、上記のような目標を設定した。</li> </ul> <p>③中心となる学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、教科書本文を読解し、設定された課題に自分で取り組む。その後、3人グループになり、それぞれが記述した解答について吟味し、グループ内で一つの解答を出す。グループ解答を作成する過程で、なぜその部分に注目したのかということ話し合うことで、根拠を押しえながら読むという、文章読解に必要な着眼点を持たせたいと考えた。</li> </ul> <p>④言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに取り組む際に、最初に自分で考える個人活動を設け、グループワークで意見が出しやすいようにした。頭の中で考えたことを話すよりも、一度ワークシートに書き込んだことを話した方が生徒たちは意見が言いやすいようである。また、グループ解答を提示するよう指示することで、個人活動にも集中し、グループでの話し合いも活発になる。グループの人数は傍観者が出ないこと、参加せざるを得ない環境にするため3名とした。司会役、記録役を決め、グループでの話し合いがスムーズに行くようにした。</li> </ul> <p>⑤評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 35%;">評価規準</th> <th style="width: 30%;">評価方法</th> <th style="width: 25%;">状況Cの生徒への対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">関心・意欲・態度</td> <td>           ①本文を読み、ワークシートに取り組んでいる。            ②グループ活動で積極的に発言をしている。         </td> <td style="vertical-align: top;">ワークシート 机間指導</td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことができなくても解答に関わる部分に線を引くよう助言する。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">読む能力</td> <td>           ①各段落の要点になる部分を見付け、ワークシートに傍線を引いている。            ②文章に書かれた内容を理解         </td> <td style="vertical-align: top;">ワークシート 机間指導 発言</td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接続詞に注目するように助言する。</li> <li>・設問で問われていることは何かを確認させる。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>				評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応	関心・意欲・態度	①本文を読み、ワークシートに取り組んでいる。 ②グループ活動で積極的に発言をしている。	ワークシート 机間指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことができなくても解答に関わる部分に線を引くよう助言する。</li> </ul>	読む能力	①各段落の要点になる部分を見付け、ワークシートに傍線を引いている。 ②文章に書かれた内容を理解	ワークシート 机間指導 発言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続詞に注目するように助言する。</li> <li>・設問で問われていることは何かを確認させる。</li> </ul>
	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応												
関心・意欲・態度	①本文を読み、ワークシートに取り組んでいる。 ②グループ活動で積極的に発言をしている。	ワークシート 机間指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことができなくても解答に関わる部分に線を引くよう助言する。</li> </ul>												
読む能力	①各段落の要点になる部分を見付け、ワークシートに傍線を引いている。 ②文章に書かれた内容を理解	ワークシート 机間指導 発言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続詞に注目するように助言する。</li> <li>・設問で問われていることは何かを確認させる。</li> </ul>												

		し、問に対する解答を記述している。		
知識・理解		①本文中の語句の意味について辞書を使って調べ、ワークシートに書き込んでいる。 ②文章中での使われ方を理解し、読解に役立てている。	ワークシート 机間指導	・辞書的な意味と、本文中での使われ方を確認させる。
成果と課題	グループで話し合うこと、グループとしての解答を提示することを事前に伝えておくと、生徒たちの取組が活発になった。グループ内で出た意見をまとめていく中で、本文中の大切なところはどこかを話し合う姿が見られた。また、自分たちが初読の段階で作った各段落の表題を精読後に見直すことで、読みの深まりや初読の観点のずれなどに気付くことができた。課題としては、読解の苦手な生徒への手立てが挙げられる。文章のどこが大切なところで、解答にどのように関係してくるのかが理解できない生徒に対して、教師はどのように助言するのが適切かを、今後考えていく必要を感じている。			
アドバイス 及び 留意点	①あまり細かな表現にこだわらず、本文の要点を読み取ることを中心に授業を展開し、生徒にもそれを伝えておく。 ②評論教材で、論理展開がきちんとしたものであれば生徒たちで読み取りができる。また小説教材においても、場面ごとの内容をまとめていく活動として応用できる。			
小中学校との 系統性	① (中学・2年・C読むこと) ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。 ② (中学・3年・C読むこと) イ 文章の論理展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。			

## 5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応 ↓ 次時に注意すること
1	○本文の概略を把握し、各段落の表題を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字、語句に注意し、教師の判読を聞きながら通読する。</li> <li>本文中の語句の意味を調べる。</li> <li>ノートに各段落の表題を考えて書く。【Cイ】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各段落の要点となる部分を見付ける表現に注目させる</li> <li>「しかし」「だが」などの逆接表現や「つまり」などの言い換えを表す表現などに注意させる</li> </ul>	本文に興味関心を持ち、読んでいる。 【関】 各段落の表題を考えてノートに書いている。 【読】 ↓ 観察 (机間指導)	教科書に線を引かせながら取り组ませる。 ↓ 着眼する表現にマークを付けさせる
2	○グループで各段落の表題を話し合い、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3人1組のグループになり、前時で各自が考えた表題について話し合う。</li> <li>10字以上20字以内でまとめるよう、字数を調整する。</li> <li>グループとしての表題をまとめ、提出する。【Cイ】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いに積極的に参加させ、グループで表題をまとめさせる。</li> <li>司会役、記録役を指名し、スムーズに話し合いが進むようにする。</li> </ul>	積極的に発言し、グループに貢献している。 【関】 【話・聞】 グループとしての表題をまとめることができる。【読】 ↓ ワークシート 観察 (机間指導)	教科書に線を引いた箇所や大事だと思った箇所について話をさせる。 ↓ グループ内の話し合いに参加し、仲間の発言を聞くよう指示をする。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず1人につき2回は自分の考えを発言するよう、指示をする。</li> <li>・なぜその表現を使うのか、根拠を明確にできるよう指示する。</li> </ul>		
3 (本時)	<p>○第一段落の読解。 戦争が人間の本能であると考えられるようになった経緯を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一段落を読み、戦争は人間の本能の所産だと考えられた経緯をまとめる。</li> <li>・本文理解のための設問に対する解答を作成する。</li> <li>・読み取りのまとめ、設問の解答などについてグループで交流し理解を深める。</li> <li>・各グループから出された段落の表題の中から最も優れているものを選び、ワークシートに書き込む。【Cイ】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かつての考え方に対してなぜ異論が出たのかを理解させる。</li> <li>・時系列でまとめを書かせる。</li> <li>・時代背景にも着眼させ、「不可避の現象」だと見なそうとする心情を理解させる。</li> <li>・本文の流れ、要点を読み取ることで、それを端的に言い表した表題を選ばせる。</li> </ul>	<p>ワークシートに取り組み、本文をまとめている。【読】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察（机間指導）</p> <p>グループ交流に積極的に参加している。 【関】【話・聞】</p> <p>↓</p> <p>観察（机間指導）</p>	<p>教科書に線を引いた箇所や大事だと思った箇所について話をさせる。</p> <p>↓</p> <p>グループ内の話し合いに参加し、仲間の発言を聞くよう指示をする。</p>
4	<p>○第二段落の読解。 サルや類人猿の攻撃行動の意味を読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二段落を読み、動物の攻撃行動の特徴をまとめる。</li> <li>・サルやゴリラなどの攻撃行動は何のためにあるのかを読み取る。</li> <li>・本文理解のための設問に対する解答を作成する。</li> <li>・読み取りのまとめ、設問の解答などについてグループで交流し理解を深める。</li> <li>・各グループから出された段落の表題の中から最も優れているものを選び、ワークシートに書き込む。【Cイ】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードを押さえてまとめているかを確認させる。</li> <li>・「自己主張」「抑制」「共存の方法」であることを理解させる。</li> <li>・動物の攻撃性が人間に見られる攻撃性とは異なることを理解させる。</li> <li>・本文の流れ、要点を読み取ることで、それを端的に言い表した表題を選ばせる。</li> </ul>	<p>ワークシートに取り組み、本文をまとめている。【読】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察（机間指導）</p> <p>グループ交流に積極的に参加している。 【関】【話・聞】</p> <p>↓</p> <p>観察（机間指導）</p>	<p>教科書に線を引いた箇所や大事だと思った箇所について話をさせる。</p> <p>↓</p> <p>グループ内の話し合いに参加し、仲間の発言を聞くよう指示をする</p>

5	○第三段落の読解。現代の戦争の攻撃の特徴を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三段落を読み、現代の戦争と類人猿の攻撃性が正反対であることをまとめる。</li> <li>・相手に対する認識の違い、攻撃の目的、本能との関係についてまとめる。</li> <li>・本文理解のための設問に対する解答を作成する。</li> <li>・読み取りのまとめ、設問の解答などについてグループで交流し理解を深める。</li> <li>・各グループから出された段落の表題の中から最も優れているものを選び、ワークシートに書き込む。【Cイ】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対比が分かるようにワークシートにまとめさせる。</li> <li>・読み取りの観点を明確にしておく。</li> <li>・逆接表現に注意させて読ませる。</li> <li>・「不気味な精神世界」とはどのようなものかを考えさせる。</li> <li>・本文の流れ、要点を読み取ることで、それを端的に言い表した表題を選ばせる。</li> </ul>	<p>ワークシートに取り組み、読み取りのポイントを押さえながら本文をまとめている。【読】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察（机間指導）</p> <p>グループ交流に積極的に参加している。 【関】 【話・聞】</p> <p>↓</p> <p>観察（机間指導）</p>	<p>教科書に線を引いた箇所や大事だと思った箇所について話をさせる。</p> <p>↓</p> <p>グループ内の話し合いに参加し、仲間の発言を聞くよう指示をする</p>
6	○第四段落の読解。筆者の主張を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「不気味な精神世界」と「過去に通ってきた精神世界」の違いを読み取り、ワークシートにまとめる。</li> <li>・生物学者としての筆者の立場・意見を理解する。</li> <li>・本文理解のための設問に対する解答を作成する。</li> <li>・読み取りのまとめ、設問の解答などについてグループで交流し理解を深める。</li> <li>・各グループから出された段落の表題の中から最も優れているものを選び、ワークシートに書き込む。【Cイ】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に行った比較をもとに、違いを考えさせる。</li> <li>・指示語がどのような内容を指しているのかを確認させる。</li> <li>・本文の流れ、要点を読み取ることで、それを端的に言い表した表題を選ばせる。</li> </ul>	<p>ワークシートに取り組み、違いをまとめている。【読】</p> <p>↓</p> <p>ワークシート 観察（机間指導）</p> <p>グループ交流に積極的に参加している。 【関】 【話・聞】</p> <p>↓</p> <p>観察（机間指導）</p>	<p>教科書に線を引いた箇所や大事だと思った箇所について話をさせる。</p> <p>↓</p> <p>グループ内の話し合いに参加し、仲間の発言を聞くよう指示をする</p>

## 6 第3時の学習指導案

本時の位置	3時間目（全6時間）
本時の学習目標	<p>ア 第一段落を読み、戦争に対する「かつて」と「現在」の考え方の違いを読み取る。 （読む能力）</p> <p>イ グループ交流に積極的に参加し、仲間の考えと自分の考えを照らし合わせている。 （関心・意欲・態度）</p>

事前の準備	①前時に提出させたグループごとの各段落の表題を一枚にまとめておく。 ②本時に使用するワークシート（本文内容理解に関する問を2～3題載せておく）を準備する。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 3分	□前時の復習と本時の目標の確認	①各グループから出された段落の表題に目を通す。 ②ワークシートをもらい、本時の目標を確認する。 ③本時のグループワークの司会者を決める。	・各グループから出された表題には、似通っているもの、違う視点からまとめられたものがあることを確認させる。 ・本時の読み取りの最後に、どの表題が最も適切かを選ぶことを伝える。
展開 40分	□第一段落の通読 □本文の内容の確認  □グループ交流  □全体交流  □表題選択	④第一段落を通読する。 ⑤ワークシートの設問1～3について自分でまとめる。  ⑥グループでワークシートの1～3について書いたことを交流する。 ⑦グループとしての解答をまとめる。  ⑧指名発言、板書などによって、各グループで出た解答を確認する。 ⑨本文理解をした上で、適切な表題を一つ選びワークシートに記入する。	・各自で黙読をする。キーワードに線を引かせる。 ・1は時間軸にそってまとめるよう、指示をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>目標Aに対する評価規準と評価方法</b>            [規準]            ・かつての考え方が生まれた経緯をまとめ、それを否定する現在の考え方の根拠が記述できている。            [方法]            ・ワークシート            ・観察（机間指導）            [状況Cの生徒への手立て]            ・「かつて」「これは～に基づいていた」などといった表現に注目するよう助言する。         </div> ・なぜそう考えたのか、根拠となる部分を明確にして伝え合うよう、指示をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>目標イに対する評価規準と評価方法</b>            [規準]            ・グループで発言し、自分の解答を練り上げている。            [方法]            ・ワークシート            ・観察（机間指導）            [状況Cの生徒への手立て]            ・グループの仲間の発言を聞き、メモを取るよう指示をする。         </div> ・段落の趣旨を明記した表題を選ばせる。

まとめ 7分	<input type="checkbox"/> 自己評価記入	⑩本時の目標に対する達成度と感想を記入する。 ⑪ワークシートを提出する。	・次時の読み取りにも、表題まとめのプリントを使用することを伝える。
-----------	---------------------------------	---	-----------------------------------